

せいらんそう

社会福祉法人
芳香会誌
第7号
2009年3月発行



【若い者には負けられません！】
(特集：高齢者雇用)

もくじ CONTENTS

特集「高齢者雇用」

『若い者には
負けられません！』・・・2

芳香会のサムライたち

～躍動する男性職員～・・・3

高齢者施設トピックス

自立支援と社会貢献・・・4

ご利用者の安全のために

・・・4

年の始めのお楽しみ・・・4

エコ活動への取り組み

芳香会におけるエコ活動と

今後の方針・・・5

エコキャップ活動・・・5

エコ安全ドライブコンテスト

・・・5

芳香会活動報告・・・6

芳香会スケジュール・・・6

編集後記・・・6



若い者には負けられません！

【特集『六十歳以上の高齢者雇用』】

現在、我が国は急速に高齢化が進展し、同時に人口減社会へ突入し、意欲と能力がある限り年齢に関係なく働き続けることができる社会を実現することが重要な課題となっております。

芳香会でも六十歳以上の高齢者へ就労の機会の提供を行うとともに、高齢者の職員の経験や知識と、若い職員の力強さを融合し、より良いサービスを提供できるよう、六十五歳までの継続雇用制度を導入したり、シルバー人材センターを活用し、高齢者を雇用しております。今号では、そんな高齢職員の活躍ぶりをご紹介します。

【継続雇用制度の導入】

芳香会では、改正「高齢者の雇用の安定等に関する法律」が平成十八年四月に施行されたことに伴い、「六十五歳までの継続雇用制度」を導入し、六十歳で定年を迎えた職員にも引き続き勤務を継続し、力をフルに発揮して頂いております。平成十九年四月に二十五名であった職員が、現在は一、五倍の三十八名にまで増えており、高齢職員の力なくして事業は成り立たない、と言っても過言ではありません。

【シルバー人材センターの活用】

このほか、古河市と結城市のシルバー人材センターへ委任し、九名の高齢者の方々に働いていただいております。

シルバー人材センターは、六十歳以上の働く意欲のある方に希望する仕事の内容を登録して

いただき、センターへ依頼のあった仕事の内容と照らし合わせ、就業していただきます。そのため、高齢者にとっては、得意分野の仕事で収入を得ることができ、依頼する企業にとっては経験豊富な方に仕事をお願いすることができ

ます。芳香会では、下表の通り、主に入所型施設の管理当直（見回りなど）や館内外の修繕活動などにおいて活躍していただいております。そこで今回は、継続雇用制度を活用し生活支援員（介護職員）として働いている高齢職員を紹介いたします。

【大場幸子 生活支援員（青嵐荘つくし園）】

大場生活支援員は、つくし園の開設当初から勤務し、十五年になります。仕事の内容は、利用者の食事・入浴・活動などの介助・支援が中心で、「ご利用者、特に自分から話すことのできない重度のご利用者に対して必ず声掛けを行う」ことをモットーとし、第一線で活躍されております。



若い職員に対しては常日頃から「気配り、目配りが大切。」「挨拶によって一日が楽しく、職員間、ご利用者間の関係がスムーズにいく。それほどに挨拶は重要。」と、仕事の基本を教えてくれる、頼もしい先輩でもあります。

このように芳香会では、高齢職員も積極的に雇用し、熟練の技を継承していただき、業務の質の向上を目指していきます。

高齢者（60歳以上）採用状況

職 種	介助員	介護員	看護師	世話人	訪問介護員	クラブ講師	医師	歯科医師	薬剤師	歯科衛生士	建築士	管理当直	合計
人 数	15名	6名	4名	3名	2名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	38名
内 訳	A	9名	5名	3名	2名	2名	1名	0名	1名	1名	1名	1名	27名
	B	6名	1名	1名	1名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	11名

※ 『内訳』中の「A」は60～64歳、「B」は65歳以上をあらわす

※ 「介助員」・・・建物の清掃や設備の修理、ご利用者の衣類の洗濯などを行う職員

古河市・結城市シルバー人材センター 活用状況

施設名	職種	人数
青嵐荘養護老人ホーム	管理当直	4名
	介助員	1名
青嵐荘療育園	介助員	1名
青嵐荘路のとう舎	管理当直	1名
GHふきのとう	管理当直	1名
たま保育園	運転手	1名
合 計		9名





芳香会のサムライたち

躍動する男性職員

芳香会では現在、約四百七十名の職員が働いております。そして、“福祉の職場は女性の職場”と思われがちですが、約三割にあたる百四十名もの男性職員も働いております。

そこで、少数派ながらも躍動するサムライたちを紹介します。

【本橋智浩 看護師（青嵐荘療育園）】

本橋看護師は療育園に勤務し九年になります。「働く」というよりも、まずは「頑張ってみる」という気持ちで就職し、気が付けばベテランの域に達しました。

療育園は重症心身障害児施設ということで、一般病院などと比べると医療機器に触れることは少ないですが、その分、人と人とのつながりやコミュニケーションを大切にして、頑張っております。そして、そのコミュニケーションを通じて、ご利用者の考えや思いを理解できた時、「この職場でよかった。」と感じるそうです。

【石田一宏 看護師（青嵐荘療育園）】

石田看護師は看護学生として療育園に就職しました。看護師の資格を取得して四年になり、仕事の面でも学業の面でも後輩の看護学生から頼りにされており、現在の「報・連・相」といった仕事の基本を大切に、技を磨いております。



【増子直希 栄養士（青嵐荘のとう舎）】
増子栄養士は路のとう舎で栄養士としての業務に従事し二年になります。



入職当時は知的に障害のあるご利用者のことを理解できずに悩み、時には挫折しそうになりました。しかし、自身が作成した献立で、ご利用者がおいしそうな表情で食事をしている場面を目にした時、悩みや迷いは吹き飛びました。

現在では人間の尊厳である“食べる”ということに携わる尊い職に就いていることを自覚し、安全でおいしい食事を提供し、ご利用者に喜んで食べていただくことにやりがいを感じながら、必死に努力しています。

【丹治好伸 栄養士（青嵐荘つくし園）】

丹治栄養士は、つくし園に入職して一ヶ月の新米の栄養士です。就職活動でつくし園を訪れた際に「頑張ろうとするのに対し、後押しをしてくれる職場」といった雰囲気を感じ、就職しました。

現在、必死になって栄養士としての業務を覚える傍ら、職場の支援を受けるながら管理栄養士の資格を得るために勉強中です。また、ご利用者からかけていただく「美味しかった」の言葉を励みに、利用者との信頼関係を構築できるよう、頑張っております。



【大塚篤史副主任生活支援員（青嵐荘療護園）】

大塚副主任生活支援員は、療護園に勤務し十年になります。仕事の内容は、主にご利用者の生活支援や介護になります。また、副主任として、職員の指導や育成にも携わっております。日々「感情をコントロールすること、仕事に對しオン・オフのメリハリをつけること」を心がけ仕事に励んでおります。



前職は主に営業の仕事に就いていました。福祉系学校での就学経験がない上、全く畑違いの業界からこの福祉の仕事に就きました。実務経験を積みながら、様々な研修へ参加したり、介護や福祉の資格を取得したりと着実にキャリアアップを図れることが、働きがいにも大きくつながっております。

また「この仕事は、人の命を預かるというプレッシャーを感じる一方、ご利用者との関わりの中で自分が必要とされていることが実感でき、且つ誰かがやらなければならない仕事を自分が行っている、自分がご利用者の生活の一部あるいは一助になっていると思う」とやりがいも感じております。

このように、芳香会では、老若男女を問わず、一人一人の職員が個性を発揮し、技を磨きながら頑張っております。

そして、社会の全ての人々が幸せに暮らせるようになることを願いながら、これから一人一人が精一杯、努力していきます。

高齢者施設トピックス

芳香会には、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、ケア・アシスタンス（介護老人保健施設）の三種類の高齢者施設があります。今回はその三施設の最近のトピックスをご紹介します。

自立支援と社会貢献 青嵐荘ケア・アシスタンス

次頁（五頁）でも紹介させていただいております通り、芳香会では現在、エコキャップ活動に取り組んでおります。

そして、ケア・アシスタンスでは、ご利用者を中心に、ペットボトルのキャップを納品する前の仕分けなどの作業を行っております。

施設内で回収されたペットボトルのキャップを職員にてきれいに洗浄した後、ご利用者七、八名の方に集まっていたいただき、まずはキャップに貼ってあるシール剥がしを行います。その後、白や黄色、緑色などの色別に仕分けし、その仕分けした物を分担して数えていきます。



この作業を通じ、より効率よくリサイクルしていただくとともに、ご利用者にとっても手先や頭のリハビリになり、また環境保全に貢献するという満足感も得られます。少しずつではありますが、地道にこの作業を続けていきたいと考えております。

ご利用者の安全のために 青嵐荘養護老人ホーム

養護老人ホームは、特別養護老人ホームより少し坂を上った小さい丘の上にあります。その坂道がここ半年、急速に地盤沈下や侵食が進行し崩落の危険があるため、早急に補強工事が必要であることがわかりました。そこで、昨年から工事を行い、擁壁を補強し、坂道も丈夫できれいな道路に生まれ変わりました。工事中、ご利用者やご家族にはたいへんご不便お掛けしましたが、安心して生活できるようになりました。

BEFORE



斜面が侵食しています



ひびが入り、路面がでこぼこしています

AFTER



補強され立派な壁に支えられています



きれいに舗装されました

年の始めのお楽しみ 青嵐荘特別養護老人ホーム

特別養護老人ホームでは、一月十日（土）に年始会が行われました。この年始会は、養護老人ホーム、グループホーム穂の香との合同で毎年恒例になっているもので、ご利用者の皆様を楽しみにしている行事の一つです。

十二月二十六日より施設内に飾り付けをし、ご利用者はもちろん、職員も気分を盛り上げます。前号（六号）でつくし園和太鼓チーム「和音」を紹介しましたが、この年始会でも活躍して下さいました。

また、今回は中央福祉医療専門学校（学生ボランティア）による迫力ある「よさこい」で盛り上がりました。中央福祉医療専門学校と芳香会とは深いつながりがあり、たくさん卒業生が芳香会で働いています。そして、二十年度はいくつもの行事にボランティアとして参加して下さいました。



さて、中央福祉医療専門学校のよさこいチームについて少し紹介致します。メンバーは学科、学年の枠を超えた有志二十名ほどです。ベトナムやマレーシアに向いて披露することもあり、世界に通用する「よさこい」として、今や他校や関係機関との友好の橋渡しとして中央福祉医療専門学校になくてはならない存在となっております。

今後のご活躍を期待しております。

エコ活動への取り組み

芳香会におけるエコ活動と今後の方針

理事長 宇留野光子

この取り組みについては、遅きの感であることは、払拭することができませんが、今後の活動内容や方法を鑑みることできた一年でもありました。特に、法人全体の取り組みとし、一年間を振り返ってみますとご利用者・ご家族・職員・地域の方々のご協力を得て大きな共同作業となつていきます。そして今後もご利用者間の交流や各事業所の職員間での活動方法を検討し、相互の協力体制が充実する事を目的とします。

さて、活動を開始するにあたり、十九年十一月に法人本部では常陽産業主催の「エコアクション二十一」セミナーに出席しました。その中で、「茨城エコ事業所登録制度」があることを知りました。最終の目標はその役割が発揮できることとします。「地球にやさしく」の法人の目標を具体化して行くことの一つです。ここで、今後の方針と内容について説明します。

第一に「リサイクル」活動です。アルミ・スチール缶・エコキャップ回収事業はこれからも実践して行きますが、収集物の拡大と作業内容の充実につとめます。

第二に「地球温暖化防止活動」です。エコドライブの推進やハイブリットカーの買い替えによる導入です。今年度のコンテスト参加もその一つです。

第三に「環境クリーン活動」です。排出物の削減や節水・節電の数値化をはかり目にみえる

体制をとります。

このような三つの目標を次年度からの委員会体制で取り組んで行きます。一層のご協力をお願い致します。



みんなの力で子どもを救う 「エコキャップ活動」

芳香会では、平成二十年十月より新たに「エコキャップ活動」を開始しました。

この活動は、ペットボトルのキャップを集め、再利用することで地球環境へ貢献するとともに、その収益金でワクチンを購入し世界の子どもの命を救おう、というものです。



キャップが八百個集まると二十円になり、それがポリオワクチン一人分となります。今や全国各地に広がり、平成二十年二月現在、協賛企業は六十企業、活動参加者数は約一万二千人、キャップ回収総数は二億九千九百万個にもなりました。

芳香会では、地元古河市にある有限会社金子合成に納めています。キャップはポリプロピレンとして再利用され、売却益は金子合成からエコキャップ推進協会を通じてNPO法人「世界の子どもにワクチンを」日本委員会に寄付され、発展途上国の子どもたちへワクチンが届けられます。

芳香会での取り組みはまだ五ヶ月あまりですが、既に四万三千二百八十個提供しており、ワクチン五十四人分にもなります。

この数は当初の予想をはるかに上回るものであり、これまでの皆さんのご協力に感謝申し上げます。

げるとともに、今後も芳香会の目標でもある「継続は力なり」を目指して、更なるご協力を賜りますようお願い致します。



地球にやさしい安全運転 「エコ安全ドライブコンテスト」

私たちが暮らしていく中で自動車はかかせない生活の足となっております。芳香会でも、現在、約六十台もの車両を保有し、ご利用者の搬送等に使用しております。

そして、これだけ多くの車両を保有している事業者の責任として、日本興亜損害保険株式会社「エコ安全ドライブコンテスト」に参加致しました。



このコンテストは、燃費改善率と事故率の改善を目的としており、芳香会では5%の燃費改善を目標としました。そして、この目標を達成するために「エコ安全ドライブ五ヶ条」を実践します。

- ① やさしい発進
 - ② エンジンブレーキの活用
 - ③ 安全な速度変化の少ない運転
 - ④ 十分な車間距離の保持
 - ⑤ タイヤの空気圧などの確実な点検・整備
- このことを実践することにより、結果として事故も燃料消費も減ることになります。

現在、平成十九年度と二十年度のいずれも十ヶ月から三ヶ月の燃料消費量を集計中です。果たして目標は達成できたのか、結果は後日お知らせします。

芳香会活動報告

「平成21年度にむけて」 次世代育成行動計画三度目の申請

次世代育成支援対策推進法が改正され、平成二十一年四月一日に施行されます。

〔改正内容〕

- 一、従業員三百人以上の企業に、行動計画の公表や従業員への周知が義務化されます。芳香会も該当事業所となります。
- 二、平成二十三年四月からは百一人以上の企業に拡大されます。

当法人は、平成二十一年四月からの行動計画を変更し、届出を行う予定です。

〔行動計画変更内容〕

- 目標一、託児所の運営を継続します。また、より多くのニーズに対応できるよう、第二託児所の設置計画を進めます。
- 目標二、育児休業や産前産後休業などの諸制度を従業員へ周知します。
- 目標三、年次有給休暇の取得の促進のための措置を講じます。
- 目標四、中学生や高校生に対するインターンシップ等の就業体験機会を提供します。また、トライアル雇用等を通じた雇い入れを促進します。
- 目標五、平成二十一年十二月までに所定外労働を削減するため、【ノー残業デー】を設定します。

平成二十一年度は、この目標を全労働者に周知し、達成できるように努力していきます。

作業用軽トラックを購入しました

この度、芳香会上大野地区で軽トラックを購入しました。

この軽トラックは、芳香会で行っている空き缶リサイクル活動で使用するため、ご利用者がつぶした空き缶を運ぶために活躍します。既に芳香会結城地区には空き缶を運ぶ際に使用しているトラックがありましたが、少し遅れてリサイクル活動を開始した上大野地区には運搬用の作業車がありませんでした。軽トラックを使用することにより、運搬作業がとても便利になります。ご利用者のリサイクル作業にも益々、力が入ります。



尚、この軽トラックの購入にあたり、「株式会社のはら」様よりご寄付を賜りました。「株式会社のはら」様のご厚意に心より感謝申し上げます。

芳香会スケジュール

- 二月 十七日 職員福利厚生
「ご苦勞様、私にご褒美」
- 三月五、六日 二十一年度採用内定者研修会
抽選会
- 十四日 評議員会
- 二十一日 理事会
- 二十七日 入社式・辞令交付式

編集後記

立春も過ぎたのに、心がさえません。日本そして世界の変化する内容に憂いを感じる今日この頃です。心の豊かさを持ち続けられるよう日々精進です。四月期から内定者の中に平成生まれの職員が数名います。目線を変え一緒に頑張りましょう。

(光)

年が明けて、自家用車を軽自動車に乗り換ええました。軽自動車と言えども、最近の車は装備が充実しており、燃費計も付いています。燃費効率の良い運転を追い求め、プライベートでもエコドライブ実践中です。

(酒)

私も子供を育てながら働いている親の一人です。仕事もきちんとしたいのですが、子供の方もそろそろにはできません。次世代育成計画の恩恵を受けながら今後も働き続けたいです。理解ある職場に感謝します。

(房)



社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027(代) FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。